

saveMLAK ニュースレター

第 36 号

世界の科学の祭典で、 saveMLAK を勝手に広報する

AAAS という NPO をご存知でしょうか？ 正式名称は American Association of Advancement of Science (米国科学振興協会)、雑誌「Science」の発行元で、約 100 億円の予算規模で活動する世界最大の NPO です。科学のみならず、政策提言・産業界への働きかけ・教育の質と機会の向上・障害者支援など、幅広い社会的活動を行っているのが特徴の一つです。

AAAS は毎年 2 月、米国またはカナダのどこかの大都市で年次大会を開催しており、世界各国から 5000 ~ 8000 人の参加者が集まります。私は 2011 年から、報道関係者として、毎年参加しています。2012 年からはプレスルームなど人の集まる場所で、また各種ミーティング・パーティー・周辺社会教育施設の取材など、とにかく人に会う機会があれば、saveMLAK 活動紹介チラシの英文版をカンバჯやマグネットとともに配布し、広報に務めています。

2012 年は東日本大震災の直後ということもあり、「日本は大変」という感じ方が比較的広く共有されていました。また AAAS 年次大会のプログラムそのものに、何らかの形で東日本大震災に関するシンポジウムが 16 件以上ありました。しかし年々、関心は低くなってきており、何らかの形で東日本大震災を取り扱ったシンポジウムは、2013 年・2014 年・2015 年とも 3 件。大きく関心を集めたのは 1 年間だけだった、ということになります。

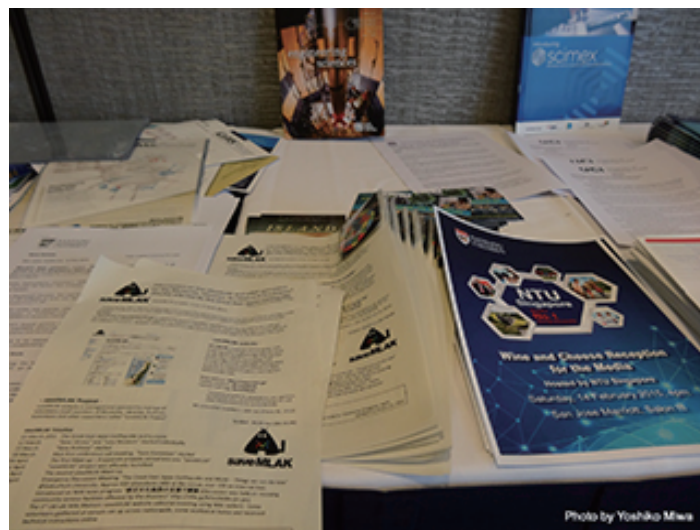
実際に saveMLAK のチラシやグッズを手渡して会話してみると、2012 年は「必要かつ貴重な活動」という反応があるものの、それ以後は、特に米国内の参加者は「え？ まだ何かやってるの？」となることが多いです。ただし、チェルノブイリ原発事故を経験したヨーロッパからの参加者は、福島原発周辺の避難民が避難できて無事に暮らせているのかどうかを気につけ、「そうではない人がたくさんいる」と話すと「まあ！」と悲しみを示したりすることも

あります。いずれにしても、少し話せば、必要性和重要性は認識してもらえる感じです。

渡辺ゆきのさんのデザインは、「なに、これ？」と思わず手にとってみる反応を引き出し、大変好評です。あまりにもデザインが好評すぎて、チラシは受け取らずにカンバჯやマグネットだけ持っていく方も多いので、ちゃんとチラシも一緒に受け取ってもらって読まれるように、毎年、配布の方法に工夫をこらしています。

年に一度のささやかな広報活動ですが、今後も、saveMLAK が活動を続ける限り、私が AAAS 年会に行ける限り、細々と続けていこうと思っています。

【三輪 佳子】



saveMLAK 統計 2015 年 4 月現在

ML アカウント数	280 (-1)
総ユニーク wiki 編集者	
アカウント数	534 (+2)
wiki 編集回数の統計	147,039 (+33)
総 wiki ページ数	29,554 (+6)
総 wiki 施設ページ数	25,676 (±0)



saveMLAK ニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複製・配布等、自由にしていただいて構いません。

福島復興公民館大学キックオフイベント

3月22日（日）、福島県広野町公民館において「福島復興公民館大学キックオフイベント」が開かれました。これは、福島の復興を公民館の力を活用して後押ししたいと考えた5人の有志が企画したもので、県内外から約20名が参加しました。イベントでは冒頭に和合亮一氏の創作した詩「キックオフ」が5人により朗読された後、5人から公民館・社会教育に期待するメッセージが順次披露されました。その中で有志の1人である神代浩から saveMLAK の活動紹介を行いました。その後参加者全員によるワークショップが行われ、公民館を拠点に住民が復興について議論するイベントを県内各地で実施できないか、などのアイデアが披露されました。

福島復興公民館大学実行委員会：荒井優（株式会社さとふる取締役）、天野和彦（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授）、上田幸夫（日本体育大学教授）、吉田博彦（特定非営利活動法人教育支援協会代表理事、ふくしまキッズ実行委員会副実行委員長）、神代浩（元文部科学省社会教育課長、saveMLAK メンバー）

【神代 浩】

神代浩による saveMLAK 紹介



4月の出来事と今後の予定

2015年 3月12日

LOD チャレンジ 2014 カンファレンス & 優秀作品発表会（慶應義塾大学）

「saveMLAK から OpenGLAM まで—未来の図書館の役割を中心に」

と題して岡本が講演

2015年 3月17日

第48回 saveMLAK MeetUp 開催

2015年 3月22日

福島復興公民館大学キックオフイベント saveMLAK の紹介（神代）

2015年 4月16日

第49回 saveMLAK MeetUp 開催

saveMLAK 会計 2015年3月期収支

2月末日現在

<収入>

グッズ売上	21,000	エル・ライブラリー
計	21,000	

<支出>

商品仕入	30,000	マグネット制作費
計	30,000	

3月末日現在 残高

952,619 円（前月比 -9,000 円）

【ファンド係：赤塚 昌俊】

【今号編集担当：富澤 美典】

編集発行：saveMLAK プロジェクト

発行日：2015年4月10日（第36号）

発行所：神奈川県横浜市中区相生町3-61 泰生ビル

さくら Works<関内>408

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内

saveMLAK プロジェクト

E-mail：pr@savemlak.jp

URL：http://saveMLAK.jp/



saveMLAK ニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複製・配布等、自由にしていただいて構いません。